

地域の子どもの可能性を伸ばしたい

NPO法人フットボールクラブ東郷代表 加藤伸幸さん (40歳)



東郷町を中心に活動する

「フットボールクラブ東郷（FC東郷）」の前身である東郷サッカークラブ（東郷SC）の設立から3月で40周年を迎えます。

今回は、FC東郷の代表者である加藤さんに、クラブ40年の振り返りや、これからのクラブについてお話を伺いました。



東郷SCからFC東郷へ

40年前、当時諸輪小学校の先生であった白村さんが「部活動以外の大会に出場できるように」と「東郷SC」を立ち上げます。その後、保護者や地域の人が指導をするようになりました。

加藤さんは、恩師の代理で春木中学校のサッカー部の指導をしていたつながり、東郷SCの指導者に誘われました。当時、サッカーはあまり盛んではなかったため、「サッカーができる環境を整えたい」との思いから、加藤さんは東郷SCの指導者に加わりました。

翌年、加藤さんは代表者となり、子どもから大人までの男女がサッカーをできて、それぞれの目的に合わせた活動ができるようにしたい」と「FC東郷」として新たに活動を始めます。週末のみだった活動時間に平日の業後の時間も加え、指導者にクラブ卒業生などを集めるなど、指導の体制を整えました。

さらに、安定した活動を行っていくため、法人化します。「サッカーをする環境をつくっ

ていく中で、OBや保護者の方たちに支えられました」と感謝の気持ちを話します。

クラブの成長

現在は、200人の会員が所属するクラブに成長し、県大会に毎年出場するようになりました。今年度の県大会ではベスト8の成績で、過去にはベスト4の成績を残したこともあります。

また、昨年度から国際交流を始めるなど、新たな活動も行っています。

「サッカーの技術を教え、試合に勝つだけでなく、挨拶といった礼儀作法を教えたり、他者と関わり合う中で協調性を育んだりするなど、子どもの可能性を伸ばすサポートも大事にして活動しています」と話します。

地域に応援されるクラブでありたい

クラブ設立から40年が経ち、クラブの卒業生がスタッフとしてクラブに戻ってきたり、子どもをクラブに通わせる卒業生も出てきた

りました。

「クラブを続けてきたことで、たくさんの方の地域とのつながりをつくることができました。これからも地域に愛され、応援してもらえるクラブとして継続していきたい。また、他のスポーツともつながりを持ち、地域を盛り上げることができれば」と微笑みます。

地域の子どもの育てるFC東郷。子どもたちが将来活躍する姿が楽しみです。

FC東郷では会員を募集中です。皆さんもスポーツに触れ、地域を盛り上げてみませんか。

